



《将来に向けた取組方針》

私たちの生活ならびに企業活動は、食べ物やエネルギー、製品の原材料や水など自然の恵みによって営まれています。しかし現在、地球上の各地域で生態系の破壊が進み、多様な生き物の生息域が急速に失われつつあり、私たちの事業活動や暮らしにも大きな影響を与えています。当社グループは事業活動を通じた生態系への影響の極小化を通じ、生態系の保全に貢献するとともに、自然との共生をめざし、緑化活動・森林保全活動を推進しています。

〈具体的取組み事例〉

太平洋里山の森での生物多様性活動

2009年から岐阜県大垣市の太平洋里山の森において里山づくり活動を推進しています。樹木医を講師に招き、里山の森にある様々な樹木の形や周囲の環境から、樹木が持ついろいろな情報の読み解き方を学び、社員の生物多様性の知識を向上して森林保全活動を継続していきます。



木とふれあい森や木と親しむ活動

当社社員が森林に愛着を持ち、森林保全活動に責任ある行動をとることができる人材の育成を目指して岐阜県と連携して「ぎふ木育」に取り組んでいます。ぎふの身近な山の木を使って、木の匂いや手触りを感じ、思いを込めた木のアクセサリーづくりを体験して森の恵みを感じることはじめています。



タイのマングローブ植樹活動

サステナビリティ活動の一環として、タイ子会社の社員と家族が参加し、チョンブリ県にあるマングローブの森林へ640本を植樹しました。地域に根ざした社会貢献活動を継続していきます。

